

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費  
1 項 農業費  
1 目 農業総務費

食のみやこ推進課 (内線: 7834)  
→事業実施: 食パラダイス推進課  
(単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)「食パラダイス鳥取県」推進事業	0	120,000	120,000				120,000	
トータルコスト	0	139,493	139,493	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	2.5人	2.5人	企画運営、普及啓発、契約事務、補助金交付事務				

事業内容の説明  
1 事業の目的、概要  
「食パラダイス鳥取県」を新たなシンボルとして掲げ、「食パラダイス鳥取県アンバサダー」制度を創設し、本県の「食」の魅力のステージアップを推進する。また、観光と連携した豊かな食の提供により、国内外から幅広い層の観光客の誘客を促進するとともに、世界に誇るべき本県の農林水産物を力強く発信していく。

2 主な事業内容  
(1) 「食パラダイス鳥取県」へのステージアップ (単位: 千円)

区分	事業内容	予算額
飲食店等の「食パラダイス鳥取県アンバサダー」登録事業	○「食パラダイス鳥取県アンバサダー」登録制度の創設 県産品の活用やその良さのPR、おもてなし等につながる各店舗等にとつての創意工夫を凝らした新たなチャレンジを行う事業者を「食パラダイス鳥取県アンバサダー」として登録する制度を創設し、県内飲食店・宿泊施設等が提供する「食」の魅力のステージアップを推進する。 ○県内外へ「食パラダイス鳥取県」のPR 「食パラダイス鳥取県」PR資材の作成、首都圏メディア発表会の開催、テレビCM等のメディア発信、県内飲食店等でのデジタルスタンプラリー等「食パラダイス鳥取県」PRキャンペーンを実施する。	24,000

(2) 【観光×食】 食の魅力でインバウンド・県外観光客を誘致促進 (単位: 千円)

区分	事業内容	予算額
「食パラダイス鳥取県」誘客力アップ事業	○県内への誘客に繋がるスイーツの開発、おもてなしや料理技術向上支援 ・首都圏の高級フルーツ店と県内飲食店等が連携した県産フルーツを使ったスイーツの開発とスイーツフェスタを開催する。 ・おもてなしや料理技術の向上セミナーを開催する。(講師:ミシュラン掲載シェフ)	8,000
「食パラダイス鳥取県」推進活動支援事業	○名物料理開発や県産品の魅力アップに繋がる取組支援(個店、団体等) ・「食パラダイス鳥取県」推進交付金(団体) 県産食材や食文化、料理等の普及、名物料理づくりや特産品開発等を行う団体に対する活動を支援する。(補助率:2/3 上限額:2,000千円) ・多様な食でおもてなし推進補助金(個店) 県内観光スポットで提供する土産物や食べ歩きグルメ、美容・健康にマッチした新メニュー開発等、「食パラダイス鳥取県アンバサダー」に登録する県内飲食店等を支援する。(補助率:2/3 上限額:1,200千円)	45,000

(3) 【魅力発信】 世界に誇るべき農林水産物をプロモーション (単位: 千円)

区分	事業内容	予算額
レストラン向け県産食材魅力発信事業	○高級レストランや有名料理店向けPR、首都圏等のテレビ・ラジオ・雑誌等のメディアを活用したPR、見本市等でのPR、ANA空輪と連携し県産品を空輸し鮮度を前面に打ち出したプロモーション等富裕層向けのPRを実施する。 ○和牛全共の肉質部門で好成績を収めた島根県と連携し、東京食肉市場でのPR、首都圏でのフェア等、「和牛のふるさと山陰」のPRを実施する。 ○アウトドア、フィットネス等の体験型の展示会の出展により、とっとりジビエ等、県産食材のPRを実施する。	39,000
消費者向け県産食材魅力発信事業	○県内飲食店での県産米大盛・おかわり無料キャンペーンや大都市圏での鳥取県産米フェアやカレーイベント等で、特Aを取得した「星空舞・きぬむすめ」のPRを実施する。	4,000

合計	120,000
----	---------

3 事業目標・取組状況・改善点  
(1) 事業目標  
・「食パラダイス鳥取県」として、観光と連携し、豊かな食の魅力を磨き上げ、国内外から幅広い層の誘客を促進する。  
・世界に誇るべき本県の農林水産物の魅力を国内外に力強く発信し、販路拡大とインバウンド・県外誘客との好循環を生み出す。  
・これまで以上に県民に本県の自然に育まれた食の豊かさを実感いただきつつ、県民自らが行う県内各地域の食の魅力の情報発信を促進する。  
(2) 取組状況・改善点  
食のみやこ推進サポーター登録数: 1,939店舗、1,156事業者 (令和5年5月12日現在)

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

1項 農業費

6目 農作物対策費

生産振興課（内線：7415）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)【食パラダイス】鳥取県みどりの食料システム戦略推進事業	0	21,124	21,124	12,859			8,265	
トータルコスト	0	31,260	31,260	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	1.3人	1.3人	商品クリニックや商談会の開催及び周知、有機農業体験学習や有機・特別栽培農産物の出前授業の開催及び周知、連絡調整、資料作成、補助金事務				

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

「食パラダイス」を推進するため、付加価値の高い有機・特別栽培農産物等について、生産者と小売店等のマッチングやイベント開催によるPR活動を実施し、県内外への販路確保や消費者等の理解促進に取り組む。  
また、「鳥取県みどりの食料システム戦略基本計画」では、農業分野での再生可能エネルギーの導入支援についても盛り込んでおり、県西部弓浜砂丘地（境港市）における営農型太陽光発電施設の導入に向けた取組を支援する。

2 主な事業内容

(単位：千円)

事業名	事業内容	実施主体	予算額
有機・特別栽培農産物の販路確保	○生産者と小売店等のネットワーク化による有機・特別栽培農産物等の見える化に向けた支援 ・生産者、小売店等の間の橋渡し役として「とっとりエコ・グリーンフードコーディネーター（仮称）」を設置し、その運営等に要する経費を助成	県	5,765
	○生産者等の販売促進活動への支援（消費者交流・マッチング支援事業） ・県内外への販路開拓・拡大に必要な販売促進グッズの作成や、イベント参加等に係る経費を助成	農業者等	600
	○生産者等と販売業者等との交流会・マッチング機会の提供 ・有機・特別栽培農産物等に特化した商品クリニックや商談会の開催、生産者の営業力・企画力向上研修会の開催等に係る経費を助成	県	560
消費者等の理解促進	○イベントを活用した環境負荷低減の取組のPR活動を支援 ・PRイベント開催等に係る経費を助成	協議会、県	583
	○有機・特別栽培農産物の生産現場と連携した食農教育推進活動を支援 ・教育関係者（教諭、栄養士）を対象とした有機・特別栽培農産物の農作業体験の開催や、教育機関（小学校等）での有機・特別栽培農産物等の出前授業・試食会の開催等に係る経費を助成	県	57
地域循環型エネルギーシステム構築	○営農型太陽光発電設備下においても収益性を確保可能な作目や効果的な設備設計、設置場所の検討等を支援 ・事業の進捗管理や事業成果のとりまとめ等を行う推進会議の開催に係る経費を助成 ○課題解決に向けた調査等の実施を支援 ・地域ごとの条件に適した発電設備下における作目や栽培体系の検討や、専門家による指導、先進地区の視察等に係る経費を助成	協議会	5,559
有機農業等産地づくり支援	○有機農業の生産から消費まで一貫したモデル先進地区の取組を支援 ・有機JAS認証に向けた栽培技術の実証などに係る経費を助成 ・地域の有機農業実施計画の策定に係る経費を助成 ・学校給食での有機農産物の提供、食育・食農講座の開催等に係る経費を助成	市町村、協議会	7,000
生産現場での理解、促進	○生産者向け研修会、新聞、メディア等を使った広報 ・生産現場における環境にやさしい農業の推進、環境にやさしい肥料（堆肥入り肥料）の利用促進に係るPRを助成	県	1,000
合計			21,124

3 事業目標・取組状況・改善点

(1) 事業目標

「鳥取県みどりの食料システム戦略基本計画」の推進施策に基づき、有機・特別栽培農産物等の見える化、販路拡大・販売促進や、地産地消、食農教育、消費者交流等による環境負荷低減への取組の理解促進を進める。

(2) 取組状況・改善点

- ・令和4年7月に施行された「みどりの食料システム法」等に基づき、令和5年3月に「鳥取県みどりの食料システム戦略基本計画」を市町村と共同で作成した。
- ・生産現場での化学肥料・化学農薬の低減等に加え、販路確保や消費者等の理解促進を行い、有機・特別栽培農産物等の面積拡大などに取り組む。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費  
1 項 農業費  
1 目 農業総務費

食のみやこ推進課（内線：7835）  
→事業実施：食パラダイス推進課  
（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)【食パラダイス】学校や地域と連携した地産地消率向上支援事業	0	5,000	5,000				5,000	
トータルコスト	0	5,780	5,780	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	補助金交付事務				

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県が平成30年3月に定めた「食のみやこととり～食育プラン（第3次）～」において、学校給食用食材の県産品利用率を「70%以上で向上を図る」という目標を掲げ、市町村の取組を支援しているところである。学校給食用食材の県産品利用率は67～70%で推移しているが、生産者グループの高齢化やAコープ等閉鎖に伴う供給体制の再構築等が近年の課題となっている。学校や福祉施設等で提供される給食への県産食材使用率の維持・向上を図るため、市町村等が行う県産食材供給の仕組み作りや地域の食文化継承につながる活動等を支援する。

2 主な事業内容

(単位：千円)

事業名	事業内容	実施主体	補助率 (上限額)	予算額
学校や地域と連携した地産地消率向上支援事業	学校や福祉施設等で提供される給食への県産食材使用率の維持・向上に係る以下の取組に要する経費を支援する。 1 事業推進計画の策定、供給組織の代表者、学校等受給施設、市町村、県等の関係者で構成する推進会議の開催 2 農林水産物を学校給食等へ供給する組織の育成と活性化を支援する活動 3 供給可能な農産物の実証圃の設置 4 学校給食等への運搬体制の整備 5 県内の先進事例調査 6 農協等生産団体を含めての課題の検証、対策及びコストダウン等効率化の検討 7 J A、他市町村との連携による広域的供給体制の整備 8 地域の食文化継承につながる取組 9 その他目的達成に必要な事業 (ただし、1は必ず実施すること)	市町村 (直接補助) J A、農業法人、生産者グループ、私立幼稚園等設置者、福祉施設設置者等 (市町村を通じた間接補助)	1/2 (1,000)	5,000

3 事業目標・取組状況・改善点

(1) 事業目標

学校給食等における地産地消率の維持・向上および食文化継承を支援する。

(2) 取組状況・改善点

- 学校給食用食材の県産品利用率「70%以上で向上を図る」という目標達成に向けて、学校給食等食材供給システム化促進事業等により市町村の取組を支援してきた。その結果、利用率が低迷傾向にあった市部で一定の改善が図られたこともあり、県産品利用率は70%前後で推移している。
- 生産者グループの高齢化やAコープ等閉鎖に伴う供給体制の再構築等が課題となっている。また、地域における食文化継承も課題となっており、本事業による課題解決を図る。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

7款 商工費  
3項 観光費  
1目 観光費

観光戦略課（内線：7218）  
→事業実施：輝く鳥取創造本部 観光戦略課  
（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)「食パラダイス鳥取県」観光誘客事業	0	5,000	5,000				5,000	
トータルコスト	0	5,780	5,780	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	委託事務、補助金交付事務				

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

「食」の魅力は、地域の魅力であり、ご当地グルメを目的として旅行先を選ぶ観光客が多い。「食パラダイス鳥取県」を切り口とした観光誘客を図るため、メニュー開発や食イベント支援、情報発信を行う。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区分	内容	予算額
1 「食パラダイス」メニュー開発支援	宿泊事業者等が実施する本県の食の魅力を活かした料理、スイーツ等のメニュー開発に対して支援を行う（キャンプ飯、サウナ飯の開発も対象）。 【実施主体】民間事業者 【補助率等】補助率2/3、上限額1,500千円	食のみやこ推進課事業「食パラダイス鳥取県」推進事業を活用
2 洋風カニ料理創作コンテスト	今年度で10回目を迎えた蟹取県ウェルカニキャンペーンのさらなる盛り上げのため、洋風カニ料理を募集する。	1,000
3 観光列車での食イベントに対する支援	地酒列車等、食をテーマとしたイベントに対して支援を行う。 【実施主体】民間事業者 【補助率等】補助率1/2、上限額500千円	1,000
4 グルメインフルエンサーの招致	フルーツ、スイーツ、ジェラート、天然酵母パンなど訴求力の高いテーマでグルメインフルエンサーを招致し、情報発信を行う。	2,000
5 その他情報発信	旅行者向けのガイドブック等での情報発信（タイアップ記事）	1,000
合計		5,000

3 事業目標・取組状況・改善点

「食パラダイス鳥取県」を切り口としたメニュー開発、創作料理コンテスト、イベント支援、情報発信により県内外への鳥取県の食の認知度向上を図り、誘客につなげる。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

7 款 商工費

2 項 工鉱業費

2 目 中小企業振興費

産業未来創造課 (内線：7663)

(単位：千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)【食パラダイス】フードテック活用食品開発促進事業	0	15,460	15,460				15,460	
トータルコスト	0	24,816	24,816	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	1.2人	1.2人	研究会開催、委託契約・支払手続、関係機関・事業者等との調整等				

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

県内食品関連企業の新分野進出、新規事業立ち上げ等に繋げるために、フードテックを活用した従来にはない新しい加工方法や食品原材料等を開発する。また、海外展開も視野に入れ、食の多様性(ヴィーガン、ハラール、高齢者向け等)に対応した高付加価値の新商品開発等を行う。

※フードテック：「Food」と「Technology」を組み合わせた言葉で、最新の科学技術を活用することにより、従来にはない新しい食品材料や調理方法等を生み出す食の最先端技術。

(事例) 未利用資源活用：魚介類(骨、内臓、鱗等)、酒粕、おから、昆虫(コオロギ等) など  
 新技術開発：培養肉、長期保存技術(冷蔵・梱包)、植物工場、人工養殖 など  
 多様性対応：ヴィーガン、ハラール、高齢者用・介護用機能性食品、アレルギー など  
 <食をめぐる諸課題>

- ・世界的な人口増加に伴う食糧不足
- ・紛争等に伴う、原材料価格の高騰や安定供給の確保
- ・SDGsへの関心の高まりにより、廃棄物削減や環境負荷低減等の社会課題解決
- ・健康・環境志向など消費者の価値観が多様化。(ヴィーガン、ハラール等)

※ヴィーガン：卵や乳製品を含む、動物性食品をいっさい口にしない完全菜食主義者のこと。

※ハラール：イスラム教徒が、イスラム法上で食べることが許されている食材や料理のこと。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区分	内容	予算額
フードテック活用研究会事業	新たにフードテック活用研究会を立ち上げ、食の多様性の考え方、海外を含めた新食品開発の取組や最新動向を紹介するセミナー・試食会のほか、フードテックを活用した食品開発が、地域経済や産業創出に与える影響についてのセミナー等を開催する。	1,350
フードテック研究開発・販路開拓事業	フードテック活用食品の動向・消費者ニーズ等を勘案して、開発ターゲットや方向性を決定したうえで、その後県内で発生している加工副産物等を活用した新食品開発を行う。 試作段階では、試食会を開催し、その意見を参考に改善を行う。また、展示会に出展し、飲食店・仕入担当者・商社等に対してPR・ニーズ調査を行う。 ■R5のターゲット 魚介(骨・内臓等)、酒粕、おから等のアップサイクル(創造的再生) [委託先：(地独)鳥取県産業技術センター]	14,110

3 事業目標・取組状況・改善点

<事業目標>

- ・新食品の製品化の取組を開始する企業数：5社
- ・廃棄物をアップサイクル食品の原材料として検討を開始する企業数：5社

<取組状況・改善点>

- ・(地独)鳥取県産業技術センター食品開発研究所(境港市)では、県内で水揚げされた魚について、未利用部位を活用した魚肉ブロックの技術移転・商品化を行ってきた。また、副産物活用(おから、酒粕)による新食品開発の基礎的な取組を開始している。
- ・県内におけるフードテックの蓄積はできつつあるが、付加価値の高い商品の開発・商品化に向けて、食に関する世界的な課題や動向等を踏まえた本県のフードテックに係る取組を戦略的に推進することが必要である。このため、産業未来創造研究会として新たにフードテック活用研究会を立ち上げ、関連企業、試験研究機関等の連携体制で検討を進めていく。

(産業未来創造研究会)

本県産業の成長軸となりうる成長産業分野参入に向けて、分野毎の研究会活動を実施。

※脱炭素技術研究会(次世代自動車・水素)、とっとり宇宙産業ネットワーク、コンテンツビジネス研究会など

※新たなテーマ設定についても柔軟に対応